

飛鳥資料館のみどころ (17)

飛鳥資料館秋期特別展のご紹介

「北方騎馬民族のかがやき 三燕文化の考古新発見」

10月16日(金)～11月29日(日)

飛鳥資料館では、今年の秋に「北方騎馬民族のかがやき－三燕文化の考古新発見」と題しまして、特別展をおこないます。

中国北東部の遼寧省西部で、騎馬民族の鮮卑族のひとつ慕容鮮卑が、3世紀初頭から5世紀半ばにかけて活躍した時代がありました。彼らは燕と呼ばれる国を337年に建国し、436年に北魏に滅ぼされるまで続きました。この時代は、前燕(337～370)、後燕(384～409)、北燕(409～436)の3つの時代に区分され、これらを合わせて、三燕と呼びます。

これら三燕時代の遺跡の調査は、1960年代からおこなわれてきました。なかでも、90年代以降の調査では、喇嘛洞墓地など大規模な遺跡が発見され、三燕文化の重要性が認識されるようになりました。さらに、日本の古墳時代との関連を示す出土遺物が存在することから、研究者の関心を集めました。

こうした中、奈良文化財研究所は1996年以降、遼寧省文物考古研究所と共同研究をおこなってきました。

今回の特別展では、喇嘛洞墓地の出土品をはじ

めとした三燕文化の遺物を展示していますが、そのみどころのひとつは、三燕文化の特徴である見事な金製品や金銅製品です。なかでも、頭飾りの歩揺は、慕容氏の名前の由来ともされるもので、見る人を魅了します。また、騎馬民族であった鮮卑族の遺跡からは、馬具類も多く出土し、当時の騎馬民族の姿が目浮かぶようです。このほか、三燕の影響を受けた、国内の関連遺物も展示しています。今回の特別展で、皆様に北方騎馬民族による三燕文化の輝きをお楽しみいただければと思います。

(飛鳥資料館 成田 聖)



展示品の一部(喇嘛洞 M10墓出土品)

■ 記 録

埋蔵文化財担当者研修

○文化財写真Ⅰ(基礎)課程

2009年7月7日～23日 7名

○文化財写真Ⅱ(応用)課程

2009年7月23日～8月6日 9名

○古代陶磁器調査課程

2009年9月1日～9月9日 9名

飛鳥資料館展示

○夏期企画展

「甦るクメール文明」－世界文化遺産

アンコール遺跡群－撮影：BAKU 斉藤

2009年8月1日(土)～30日(日)

平城宮跡歴史文化講座(第9回)

(NPO平城宮跡サポートネットワーク主催)

2009年9月19日(土)午後1時30分～

於：奈良県中小企業会館

「土地制度と税制について～国・地方の財政を支えたもの～」

館野 和己 奈良女子大学教授

「世界都市長安城の風景－平城京の原型－」

今井 晃樹 都城発掘調査部主任研究員

「平城京遷都の歴史的背景－日本古代都城の出現と変質－」

井上 和人 都城発掘調査部長

本庁舎ガイダンスコーナー 特別企画展

○展示「地下の正倉院展－二条大路木簡の世界－」

2009年10月20日(火)～11月29日(日)

飛鳥資料館 秋期特別展

○展示

上記「飛鳥資料館秋期特別展のご紹介」参照

○記念講演会 於：飛鳥資料館講堂

2009年10月17日(土)午後1時～3時30分

「北方騎馬民族のかがやき 三燕文化の考古新発見」

町田 章 元奈良文化財研究所長

田 立坤 遼寧省文物考古研究所長

ガイダンスコーナー開設のお知らせ

奈良文化財研究所玄関横に展示スペースを設置しました。

公開時間 午前9時30分～午後4時30分

(土日祝は休み)

■ お知らせ

公開講演会(第105回) 於：なら100年会館大ホール

2009年11月28日(土)午後1時30分～

「これからの平城宮跡－遷都1300年を迎えて－」

田辺 征夫 所長

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp/>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2009年9月